



愛知の誇る農林水産物 牛乳・乳製品

主要産地：田原市、半田市、豊橋市

6月1日は牛乳の日です！
6月は牛乳月間です！

(産出額：全国8位)

今年度の知事の名刺（6月・7月）

2026年6月5日（金）
愛知県農業水産局畜産課
畜政環境・飼料グループ
担当 松澤、武田
内線 3724、3707
ダイヤルイン 052-954-6425

愛知県産の農林水産物「牛乳・乳製品」をPR ～牛乳（メタン削減牛乳）・乳製品を知事が試食します～

愛知県では、知事の名刺を使った農林水産物や特産物のPRを2011年から行っています。

2026年の6月、7月は「牛乳・乳製品」を取り上げます（2026年4月7日発表済み。）。愛知県は、生乳産出額が全国第8位（2024年度）と酪農が盛んです。牛乳やヨーグルト、バターなどの乳製品は、私たちの食卓に欠かせない食材であり、酪農関係者の方々の日頃の努力によって安定的に供給されています。

「牛乳月間」である6月に、愛知県牛乳普及協会及び関係者が知事を訪問し、「牛乳・乳製品」に込める思いを伝えるとともに、愛知県産の牛乳（メタン削減牛乳）及び乳製品を知事が試食し、広く県民の皆様においしさをPRします。

1 日時

2026年6月12日（金） 午前11時40分から正午まで

2 場所

愛知県公館

3 訪問者（敬称略）

愛知県牛乳普及協会

会長 おぎの まこと 荻野 誠（中央製乳株式会社 代表取締役社長）

副会長 すずき やすひろ 鈴木 康弘（愛知県酪農農業協同組合 代表理事組合長）

会員 なかむら こういちろう 中村 晃一郎（雪印メグミルク株式会社 豊橋工場長）

株式会社ファームリッチ近藤 代表取締役 こんどう たかみき 近藤 貴幹（酪農家）

株式会社サンヨネ 代表取締役 みうら かずお 三浦 和雄

4 内容

- (1) 愛知県牛乳普及協会会長挨拶
- (2) 知事による牛乳・乳製品の試食
- (3) 歓談
- (4) 記念撮影

1 愛知県の生乳の生産状況について

表1 乳用牛の飼養状況および産出額

飼養戸数	186 戸	全国 12 位
飼養頭数	17,800 頭	〃 8 位
1 戸当たり飼養頭数	95.7 頭	〃 9 位
産出額	196 億円	〃 8 位

※飼養戸数、飼養頭数、1戸当たり飼養頭数は
農林水産省畜産統計調査（2025年2月1日現在）
※産出額は、農林水産省生産農業所得統計（2024年）

表2 市町村別飼養頭数

順位	市町村	戸数	飼養頭数 (頭)
1	田原市	36	4,542
2	半田市	19	3,483
3	豊橋市	36	2,543

※県畜産課調べ（2025年2月1日現在）

2 メタン削減牛乳について

愛知県では、自動車産業が盛んであることから、「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」など、カーボンニュートラルの取組が積極的に行われています。そのような中、中部圏最大の畜産県であることから、温室効果ガス削減の取組として、牛のげっぷに含まれるメタンを削減する実証事業に取り組んでおります。今般、県内酪農家の理解醸成と普及を進めるため、飼料添加物として指定されたメタン削減飼料を用いて、民間牧場（株式会社ファームリッチ近藤）でのメタン削減モデルの調査を行います。

また、中央製乳株式会社及び株式会社サンヨネの協力のもと、当該牧場において生産された「メタン削減牛乳」の試験販売を、6月13日（土）からサンヨネ5店舗（蒲郡店、豊川店、東店、高師店、魚町本店）で実施予定です。

3 愛知県牛乳普及協会について

(1) 設立年月日

1979年9月27日

(2) 事務所の所在地

名古屋市中区丸の内3丁目7番9号
チサンマンション丸の内第2 202号

(3) 会員数

9 会員（2026年5月末時点）

※ 会員である生産者（愛知県酪農農業協同組合）と県内乳業メーカーが一体となって牛乳、乳製品の消費拡大等の啓発を行っている。



(メタン削減牛乳のパッケージイメージ)

(4) 主な事業内容

- ① 牛乳・乳製品の消費普及を図るための消費者に対する啓発宣伝事業
- ② 牛乳・乳製品の新規需要開発事業
- ③ 牛乳・乳製品の消費普及に関する生産、処理、販売の調査研究事業
- ④ 牛乳・乳製品の消費普及のための流通改善に関する事業